

京都新祝祭管弦楽団 特別演奏会

楽団創立 10 周年記念シリーズ Vol.2

2023 年 2 月 26 日 (日)

京都府立府民ホールアルティ

主 催 京都新祝祭管弦楽団
特別協賛 三洲電線株式会社 株式会社マイティワイン
協 力 株式会社十字屋 三条本店 APEX 株式会社ドルチェ楽器

ご挨拶

京都新祝祭管弦楽団 団長 藤田 一之

本日は京都新祝祭管弦楽団特別演奏会にご来場いただきありがとうございます。当楽団はプロとアマチュアの演奏家で編成されたオーケストラとして、昨年で発足 10 周年を迎えました。前回は昨年 9 月、楽団創立 10 周年記念シリーズ第一弾としてラフマニノフ、マーラーの大曲をお届けしましたが、今回は同シリーズ第二弾としてモーツァルト、ハイドン、ベートーヴェンといった古典派の作曲家による小編成の名曲をお届けします。

まず最初にモーツァルトの歌劇《フィガロの結婚》の序曲に続き、劇中の一節および同じくモーツァルトのコンサートアリアを一曲、当楽団とは何度も共演いただいております小玉洋子氏のソプラノ独唱とともにお届けします。

そして、現在ハンガリーを代表するピアニストの一人であられるヘゲデューシュ・エンドレ氏をお招きする機会を得て、ハイドンのピアノ協奏曲を演奏いたします。海外の演奏家との共演は今回が初めてで、出演者一同楽しみにしております。

締めくくりには、自然の豊かさと落ち着きに溢れたベートーヴェンの交響曲第 6 番《田園》をお届けします。

With コロナが叫ばれてもうずいぶんがたち、悲しいかな他人といわゆる「膝を突き合わせて」会話することはめっきりなくなりましたが、その中でも生の音楽活動が再度活発化しつつあるのは嬉しいことです。コロナ禍により演奏活動に支障を生じた期間を含め、この 10 年間にご支援を賜りました皆様には深く感謝いたします。どうか本日も古典派作曲家による美しい音の響きを存分にお楽しみいただきますように。

会場での感染防止には十分な対策を施しておりますが、皆様各位におかれましても感染防止のためのご配慮を賜りますようお願いいたします。

なお、今回の演奏会の模様を有料ネット配信（3 月 31 日まで視聴可能）します。演奏会終了後も申し込みができますので、ぜひご高覧いただければと存じます。

視聴申込 <https://musemo.tv/contents/1034>

(3 月 31 日まで何度でも視聴可能)



W.A. モーツァルト | Wolfgang Amadeus Mozart (1756–1791)

《フィガロの結婚》K.492 より

»Le Nozze di Figaro« K.492

- 序曲

Ouverture

- スザンナのレチタティーヴォとアリア

〈とうとう待っていた時が来た～さあ早く来て、いとしい人よ〉

Recitativo instrumentato ed Aria: Giunse alfin il momento – Deh vieni non tardar, oh gioia bella

コンサートアリア 《大いなる魂と高貴な心》 変ロ長調 K.578

Konzertarie »Alma grande e nobile core« K.578

F.J. ハイドン | Franz Joseph Haydn (1732–1809)

ピアノ協奏曲 ニ長調 Hob.XVIII:11

Klavierkonzert D-dur Hob XVIII:11

I. Vivace

II. Un poco Adagio

III. Rondo all'Ungarese. Allegro assai

— 休憩 —

L.v. ベートーヴェン | Ludwig van Beethoven (1770–1827)

交響曲第6番 へ長調 作品68 《田園》

Symphonie Nr.6 F-dur op.68 »Pastorale«

I. Erwachen heiterer Empfindungen bei der Ankunft auf dem Lande - Allegro ma non troppo

II. Szene am Bach - Andante molto mosso

III. Lustiges Zusammensein der Landleute - Allegro

IV. Gewitter, Sturm - Allegro

V. Hirtengesang: Frohe und dankbare Gefühle nach dem Sturm - Allegretto

指揮・・・湯浅 篤史

ソプラノ独唱・・・小玉 洋子

ピアノ独奏・・・ヘゲデューシュ・エンドレ

管弦楽・・・京都新祝祭管弦楽団



京都市に生まれる。幼少期よりピアノ、ヴァイオリン、ソルフェージュを学ぶ。京都市立堀川高等学校音楽科、京都市立芸術大学でヴァイオリンを専攻した後に、東京音楽大学でトロンボーンを専攻し卒業。大学在学中よりNHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など在京のオーケストラをはじめ、全国各地の楽団に客演しプロ奏者としてのキャリアをスタートさせた。1989年の楽団創設時より11年にわたりオーケストラアンサンブル金沢（故岩城宏之音楽監督）の常任客員奏者として演奏活動に従事し、数多くのコンサートやレコーディングに参加した。1998年～99年米国シカゴに留学、シカゴ交響楽団のメンバーより多くを学び、帰国後指揮活動を開始する。2006年、京都祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ベートーヴェンの交響曲全曲演奏を完結させる他、国内外で活躍する一線級のソリストとの共演を重ねる。2012年、京都祝祭管弦楽団音楽監督を辞任、京都新祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ブラームスの交響曲、協奏曲の連続演奏を完結させたほかに、東日本大震災復興支援演奏会を数多く指揮し継続中である。2019年3月にはチェコ共和国プラハ市スメタナホールにおいて「復興支援特別演奏会 in プラハ」を指揮し大成功を取めた。またオーケストラやアンサンブルなどの編曲作品は多岐にわたり400曲を超え、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団プラスアンサンブルなど世界中の演奏家によりコンサートに取り上げられている。2000年「湯浅篤史の個展」を開催し好評を博す。第26回京都芸術祭京都新聞社賞、第35回京都芸術祭京都府知事賞受賞。現在京都新祝祭管弦楽団音楽監督、名古屋プラスアンサンブル音楽監督、関西トロンボーン協会副会長の他、京都芸術祭音楽部門副実行委員長、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師、兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師を務め、多くの後進の指導にあたっている。



姫路市出身。京都市立芸術大学卒業。同大学院修了。ウィーン市立音楽大学オペラ科を最優秀の成績で卒業。ヴェルディ「リゴレット」ジルダ、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、プッチーニ「修道女アンジェリカ」アンジェリカ、オッフエンバック「ホフマン物語」アントニア、フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、スメタナ「売られた花嫁」マリー等に出演。スロヴァキアにおいて、コシツェ交響楽団によるニューイヤーパーラコンサートに出演。また、同交響楽団と「ヘンゼルとグレーテル」のCDを録音。モーツァルト「戴冠ミサ」・「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務める。京都銀行CM「指揮者編」に出演。京都新祝祭管弦楽団プラハ公演（スメタナホール）に於いて、マラー交響曲第4番のソロを務めた。

第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門一般の部最高位。第1回プリマヴェーラコンサートにおいて最優秀演奏者賞を受賞。宝塚演奏家連盟会員。京響コーラスヴォイストレーナー。女声合唱コーロ・アプリーレ指導者。ペーレンコア特別講師。京都市立京都堀川音楽高等学校、京都芸術大学、頌栄短期大学講師。YMS 主宰。



ハンガリー生まれの68歳。6歳で初コンサートを開催。1973年フランク・リスト音楽院入学。ラフマニノフ国際ピアノコンクール第1位、シドニー国際ピアノコンクール最高位及び審査員特別賞ほか多数のコンクール受賞歴がある。

国営フンガロトン・レーベルより多くのCDが発売され、特に「バルリーニ（リスト編）バルリーニのテーマによるオペラ・ファンタジー」では国際レコードグランプリを受賞した。2014年3月ハンガリー共和国より長年の功績が認められコシュートプライス（日本の文化勲章にあたる）が授与される。

コンサート活動も精力的で、本国ハンガリーを拠点にアメリカ、カナダ、イタリアなど世界各国で演奏活動を行っている。近年では2019年9月ブタペストナショナルホールにて、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番、ベートーヴェンピアノ協奏曲第5番を、ハンガリー国立放送交響楽団と共演した。

毎年来日し各地でコンサートや札幌でピアノ指導を行うなど、大の親日家である。同世代のラーンキ、シフ、コチシュとともにハンガリーのピアノ界を牽引する演奏家の一人である。

京都新祝祭管弦楽団

2012年、プロ奏者、アマチュア奏者、音楽を学ぶ学生らを中心に、京都に所縁のあるメンバーによる混成のオーケストラとして創設された。創立時より湯浅篤史が音楽監督を務める。

若いメンバーがプロオーケストラのベテラン奏者よりオーケストラのノウハウを多角的に学び、同じステージで実践していくというアカデミックなスタイルを基本に、オーソドックスな作品から様々な演奏スタイルを習得し、スタンダードなレパートリーを着実に広げている。自主公演においてはブラームスの交響曲と協奏曲をツィクルスとして連続演奏し完結させた他に、東日本大震災の被災者のための復興支援演奏会を継続して開催してきた。2019年、初の海外公演をプラハ市にて開催し、復興支援のための委嘱作品《「鏡風」～独奏トランペットを伴うオーケストラのための～(2018)》を国外初演した。世代や立場を超えてオーケストラを愛するメンバーが集い、日本を代表する古都京都より発信する音楽のメッセージは多くの人々から注目されている。

団長・・藤田 一之 運営委員長・・西村 博昭 監事・・古田 雅一 音楽監督・・湯浅 篤史
コンサートマスター・・古川 葵 アシスタントコンサートマスター・・高野 能成

名誉芸術顧問

西出 昌弘 (元京都市交響楽団 首席コントラバス奏者)

芸術顧問

北村 源三 (元NHK交響楽団 首席トランペット奏者)
海川 雅富 (元京都市交響楽団 クラリネット奏者)
仙崎 和男 (元京都市交響楽団 首席ファゴット奏者)

名誉コンサートマスター

村瀬 理子 (神戸女学院大学非常勤講師 ヴァイオリン奏者)

演奏アドヴァイザー

西口 勝 (京都市交響楽団 コントラバス奏者)
越川 雅之 (京都フィルハーモニー室内合奏団 打楽器奏者)

首席奏者兼コーチングスタッフ

岩淵 晴子 (元兵庫県立芸術文化センター管弦楽団コアメンバー ヴァイオリン奏者)
田代 直子 (関西フィルハーモニー管弦楽団 ヴィオラ奏者)
大町 剛 (関西フィルハーモニー管弦楽団 チェロ奏者)
河野 泰幸 (札幌大谷大学芸術学部音楽学科准教授 クラリネット奏者)
福田 裕司 (兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師 トランペット奏者)

副首席奏者兼コーチングスタッフ

中世古 千賀 (ヴァイオリン奏者)
和久井 穂波 (フルート奏者)
長野 夏弥 (関西フィルハーモニー管弦楽団 ホルントップ奏者)

1st. Violins

筏 謙史
黒澤 健人
小西 果林
○高野 能成
宝木 寛
中川 卓哉
◎古川 葵
古田 雅一
松尾 慶子

2nd. Violins

◎岩淵 晴子
北澤 田鶴子
桐山 敏明
○中世古 千賀
西村 博昭
矢口 弘樹

Violas

君島 静
瀬川 友香
田崎 祐成
◎田代 直子
福井 秀紀
松本 吉泰

Cellos

◎大町 剛
田中 寿夫
玉田 陽子
ウィリアム・
プランクル
村田 幸平
吉澤 ゆう子

Contrabasses

◇西口 由子
平子 愛望
森下 彰子
好村 蘭子

Flutes

☆大谷 加奈
高松 香陽子
○和久井 穂波

Oboes

○瀬良 万葉
◎藤田 一之

Clarinets

新角 桂
☆東出 菜々

Bassons

☆常田 麻衣
松井 美帆

Horns

白敷 菜夏
◇長野 夏弥

Trumpets

芦田 陽介
◎福田 裕司

Trombones

○黒岩 亮宏
☆呉 信一

Timpani

☆奥村 隆雄

運営役員

上嶋 大樹
黒澤 健人
白敷 菜夏
瀬良 万葉
高野 能成
宝木 寛
中西 愛
松井 美帆
森下 彰子

W.A. モーツァルト | 《フィガロの結婚》 K.492 より

- 序曲
- スザンナのレチタティーヴォとアリア
〈とうとう待っていた時が来た～さあ早く来て、いとしい人よ〉

《フィガロの結婚》は、伯爵の召使いであるフィガロと恋人スザンナの結婚をめぐる、一日のドタバタ劇を描いたオペラである。この作品の「元ネタ」は、痛烈な貴族批判を理由にフランスで何度も上演を禁止されたボーマルシェの戯曲『狂おしき一日、あるいはフィガロの結婚』。これをもとにロレンツォ・ダ・ポンテがイタリア語の台本を書き、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-1791）が曲を付けた。ダ・ポンテの台本とモーツァルトの音楽が人物描写にさらなる深みをもたらし、世俗的な喜歌劇であるオペラ・ブッフアの伝統的形式に従いながらも、階級社会への批判と倫理的な問いの投げかけに見事成功した傑作である。

序曲は、わくわくするような、胸騒ぎのようなユニゾンから始まる。軽快なテンポに乗って親しみやすい旋律が次々と登場し、本編で起こる愉快的な騒ぎを予感させる。〈とうとう待っていた時が来た～さあ早く来て、いとしい人よ〉は、スザンナの浮気を疑って茂みに隠れているフィガロに、スザンナがわざと聴かせて嫉妬させる「いけず」な歌。伯爵への愛を歌っているように見えて、本当は、フィガロへの想いを歌っているのである。

W.A. モーツァルト | コンサートアリア 《大いなる魂と高貴な心》 変ロ長調 K.578

「コンサートアリア」の多くはその名の通り、演奏会で歌われることを想定して書かれたものだが、自作オペラや他人のオペラへの挿入歌・代替歌として書かれたアリアも「コンサートアリア」の名で呼ばれることがある。モーツァルトの《大いなる魂と高貴な心》は後者にあたり、ドメニコ・チマローザのオペラ・ブッフア《ロッカ・アズツラの二人の男爵》への挿入歌として作曲された。テキストはジュゼッペ・パロンバによる。

主人公の婚約者であるラウラが、恋人の不実を前にしても気高さを失わず、堂々と自らの決意を歌い上げる。当時デビューしたばかりの若いソプラノ歌手、ルイーゼ・ヴィルヌーヴのために書かれた。ヴィルヌーヴはほかに、《フィガロの結婚》のスザンナや、《コシ・ファン・トゥッテ》初演時のドラベラを演じている。

F.J. ハイドン | ピアノ協奏曲 二長調 Hob.XVIII:11

ヨーゼフ・ハイドン（1732-1809）が活躍した18世紀は、鍵盤楽器が大きく進化を遂げた時代である。楽器が変われば、作曲家の表現も変化する。ハイドンの初期の鍵盤楽器作品は、明らかにチェンバロやクラヴィコード、またはオルガンのために書かれているが、後期クラヴィーアソナタの楽譜にはクレッシェンドやアクセント、スフォルツァンドなどの指示が散見され、強弱の弾き分けが得意なフォルテピアノを想定して書かれていることがわかる。これら2つの語法の分岐点を明確に示す資料は残っていない。しかし、ハイドンが仕えたエステルハージ宮廷へのフォルテピアノの導入時期などから、1780年代がハイドンの鍵盤楽器表現における転換期にあると推測できる。

今回演奏する二長調の協奏曲は、まさにその頃に書かれた作品で、1784年に「クラヴィチェンバロ、またはフォルテピアノ用のコンチェルト」として出版された。チェンバロとピアノフォルテの両方に対応したタイトルではあるが、これは作曲家の意図の反映というよりも、複数の鍵盤楽器が共存した当時の慣習に従った表記である可能性が高い。音楽の内容を見ても、敏捷かつ繊細なチェンバロの表現が色濃く残されている。現代ピアノによる演奏であっても、かつて親しまれた鍵盤楽器の魅力を存分に味わえる作品といえるだろう。

- 第1楽章：弦楽3声の軽快な第1主題を提示し、それがオーケストラ全体に受け継がれたあと、ピアノソロが登場する。シンコペーションによる第2主題も印象的。
- 第2楽章：穏やかに流れる4分の3拍子の中、ピアノが装飾的旋律を優雅に歌う。
- 第3楽章：「ハンガリー風ロンド」の名を持つが、主題はボスニアやダルマチアの舞曲「シリ・コロ」によるという説もある。長調と短調のコントラストが鮮やか。

L.v. ベートーヴェン | 交響曲第6番 へ長調 作品68 《田園》

現代人の多くは「田園交響曲」という名詞を聞くと、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827) の交響曲第6番を思い浮かべるだろう。しかし実は「田園交響曲」というジャンルは18世紀にすでに大流行したもので、ベートーヴェン以外にもたくさんの人が田園交響曲を残している。

へ長調という調性、反復の多用、低音の保続、アルペンホルン音形、素朴な印象を与える和声進行など、ベートーヴェンの《田園》の特徴の多くは、それ以前からある「田舎らしい表現」を引き継いだものである。物語の展開はハイドンの《四季》に似ているし、5楽章による構成も、全く新しい発想とはいえない。すでに1784年、ユスティン・ハインリヒ・クネヒトという作曲家が、ベートーヴェンの第6番と非常に似たストーリーで5楽章形式の田園交響曲を書いているのだ。

作曲家自身がこの作品について、情景の絵画的描写ではなく「感情の表現」であると明言したことは、純粋器楽が高級な音楽とされた時代ならではの新しさかもしれない。だが実際には、ベートーヴェンの《田園》にも情景を描写した箇所が多数あり、「感情の表現」という言葉だけでベートーヴェンの革新性を主張することは難しいだろう。

しかし、同時期に作られた交響曲5番《運命》と並べてみると、ただ伝統を踏襲したようにも思えるのどかな表現の奥に、ベートーヴェンの《田園》の、交響曲としての完成度の高さが見えてくる。例えば、冒頭のたった数小節に用いられた断片的な動機を、その後全曲にわたって徹底的に展開・活用していく手法は、《運命》と全く同じである。むしろ田園交響曲という既成の文脈の中で用いられる分、そういったベートーヴェン独自の手法の新しさが際立っているともいえよう。

このように古いようで新しいベートーヴェンの《田園》は、次世代の作曲家にも影響を与えた。同じく5楽章形式の中で作曲家の「感情の表現」を鮮やかに実現したベルリオーズの《幻想交響曲》は、ベートーヴェンの《田園》にインスピレーションを得て書かれたと考えられている。このベルリオーズの標題音楽はリスト、ヴァーグナーへとつながり、新しい音楽の道を切り拓いていく。新しいものはいつも、伝統的な枠組みの内側から生まれる。そんな当たり前のことを、改めて実感させてくれる交響曲である。

- 第1楽章：田舎に降り立った瞬間の、みずみずしい期待に満ちた気持ち呼び起こす幕開け。明るくのどかな主題が何度も繰り返され、自然の中をのんびりと歩いているような感覚を与える。
- 第2楽章：小川のせせらぎのような音形の上で、穏やかな音楽が進む。楽章の最後には、サヨナキドリ（フルート）、ウズラ（オーボエ）、カッコウ（クラリネット）の歌が聞こえてくる。
- 第3楽章：農民たちが愉快地踊る場面。出るところを間違えたり、そのあと何食わぬ顔で戻っていったりする様子も描かれている。この楽章から第5楽章までは続けて演奏される。
- 第4楽章：楽しいシーンから一転、雨が降り出し、ティンパニやトランペットの激しい嵐、ピッコロの稲妻が農村を襲う。トロンボーンも加わって最大の暴風雨になったあと、雨が止み、雲のあいだからオーボエの陽光が差し込む。
- 第5楽章：草木に露が輝くようなフルートの上昇音形のあと、再び戻ってきた平穏の中で、クラリネットとホルンが牧人の歌を歌う。スケッチ段階では、この楽章に合唱を導入しようという構想もあった。



次回演奏会のご案内

■ 京都新祝祭管弦楽団 第8回定期演奏会

日時・・・2023年7月23日(日) 場所・・・京都府長岡京記念文化会館

ラロ：《スペイン交響曲》ニ短調 作品21

ベルリオーズ：《幻想交響曲》作品14

指揮：湯浅 篤史

ヴァイオリン独奏：杉江 洋子

※ 開演時間・チケット取り扱いなどの詳細は、決定次第、公式サイト・公式 SNS アカウント等でお知らせいたします。

Follow Us !

京都新祝祭管弦楽団では、活動の様子を各種 SNS にて発信しています。Youtube チャンネルも開設し、音楽監督による曲目紹介やソリストへのインタビュー、団員によるリモート演奏など、さまざまなコンテンツを掲載しています。公式ホームページとあわせて、ぜひご覧ください。



Official Site



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube

各種木材建築・改築工事



山三製材所

京都市中京区西ノ京北壺井町85番地 075-802-3188



Excellent music shop

Adviser

● 専門的で知識豊富なアドバイザースタッフが、音楽に関する情報をご提供。

Service

● 熟練の技術者によるきめ細やかな調整。万全の態勢で楽器をサポート。

History

● 1898年(明治31年)の創業以来、音楽生活を愛する方々の信頼とともに。

Selection

● 充実の品揃えと、ゆったりとした試奏室で、運命の出会いをプロデュース。

Event

● 音楽教室やコンサートなど、さまざまな音楽生活をコーディネートします。

JEUGIA 三条本店

〒604-8036 京都市中京区三条通新京極角

営業時間 平日 11:30～20:00
土日祝 10:30～20:30
木曜日定休

APPLAUSE

(鍵盤フロア)



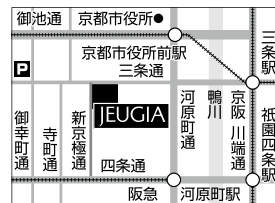
Tel. **075-254-3740**

APEX

(管弦フロア)



Tel. **075-254-3750**



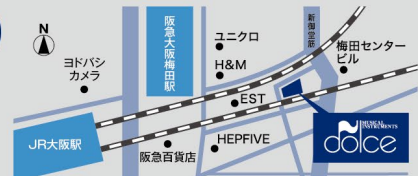
NEW Dolce OSAKA

ドルチェ楽器大阪店

確かなものを心ゆくまで
世界の銘器をあなたのもとへ

管楽器ご購入・メンテナンス・レッスン・コンサートホールを一堂に。
夢の管楽器専門店ここに誕生。

ドルチェ楽器
大阪店アクセス



株式会社 **ドルチェ楽器** 大阪店

〒530-0017 大阪市北区角田町2-7

TEL: 06-6377-1117 E-mail: infod@dolce.co.jp

VIRTUOSO | VIOLINS

世界の名器を演奏家へ

最高の音色を届ける専門店

ストラディヴァリに代表されるイタリアのオールド & アンティークヴァイオリン、
オーダーメイドを中心とする現代イタリア名器から
初心者やアマチュア音楽愛好家用の楽器まで
あらゆるクラスにおいて一切の妥協を許さないクオリティを追求しています。

VIRTUOSO | VIOLINS 株式会社ヴィルトゥオーゾ

名古屋駅前店 名古屋市中村区名駅2丁目45-10 川島ビル7F / TEL: 052-569-1801

京都四條烏丸店 京都市下京区月鉾町52 イヌイ四條ビル6F / TEL: 075-754-8496

岡崎店 / 本社 愛知県岡崎市井田町3-88-1 / TEL: 0564-28-9792

札幌大通西店 札幌市中央区大通西16丁目1-15 メディカルビルスリーエム 3F

TEL: 0564-28-9792 (本社電話番号から転送)

(東京および関東、北海道、西日本、九州などへも外商が定期訪問中)



<https://www.virtuoso.co.jp>

<https://virtuoso-violins.com>

<https://violins-shop.com>

✉ violin@virtuoso.co.jp

京都



AMERICAYA

アメリカヤ楽器店

SINCE 1945



〒603-8143

京都市北区小山上総町14-16 (地下鉄北大路駅2番出口正面)

TEL 075-441-2341

E-mail youkoso@americaya.jp

Web サイト <https://www.americaya.jp/>



Web サイト

日々のお食事を
ワインで豊かに!



- ・家庭料理とのワインペアリング
 - ・ワインパーティー企画
 - ・ワインレッスン 等
- ご希望に応じたご提案をします

ワインコンサルティング
HIRO NISHIMURA

お問合せ先: hiro-nishimura@hi-ho.ne.jp (西村)



kiyomizuyaki
danchi
seikotsuin

きよみず焼団地整骨院

保険治療・姿勢評価システム・酸素カプセル

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	★
15:30~20:00	○	○	○	○	○	★	

★土(午後)・日・祝は
ご予約の方のみ利用可能です。

※日・祝の診療時間は
10:00~18:00です

ご予約
お問い合わせ

tel (075)591-1022



インターネットでもお買い物OK!
イタリアワイン1500アイテム

GLWINERIOUS

大阪府中央区釣鐘町1-1-1 大衆ビル1F
TEL:06-4791-0808




広告募集のお知らせ

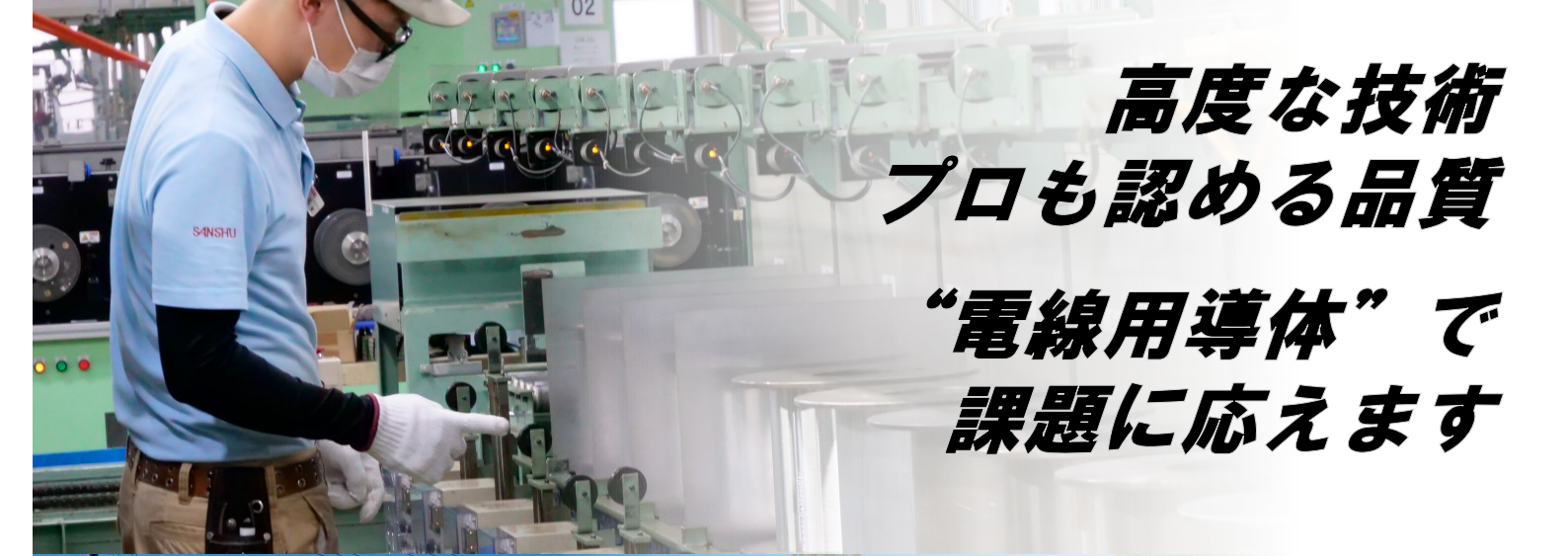
京都新祝祭管弦楽団では、当団の演奏会で配布するパンフレットへの広告を募集しております。
詳細は以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

申込み・問い合わせ先: kyoto.shinsyukusai@gmail.com

**産業用ロボット
半導体製造装置
自動車・鉄道車両
高級オーディオ
医療機器 など**



**高度な技術
プロも認める品質
“電線用導体”で
課題に応えます**



**電線用導体製造から完成品提案まで
独自の『伸線加工技術』で
人と社会に貢献します**

SANSHU 三洲電線株式会社

〒444-0324 愛知県西尾市寺津町二丁7番地1

電話：0563-59-7615（代表）

FAX：0563-59-2193

Web：https://www.sanshu-ew.com QRコード 



 Facebookもやっています！ “いいね！” お願いします！

Slovakia Wine × Classical Music

音楽と愉しむ

スロヴァキアワイン

はちみつ
レモンの様

甘美な余韻

ほんのり甘みを感じるアタックと
スッキリしたフィニッシュの味わい

モノ・リボヴィナ 白 750ml
¥3,960(税込)

スロヴァキア貴腐ワインの本命
食後のデザートワインとして最適

トカイクラシック
4プット ノーヴィー 2006 500ml
¥6,600(税込)



— スロヴァキアワイン専門店 —

株式会社
マイティワイン
TEL.06-6479-1655

